

鴨川ギャラリー整備について

■ 鴨川ギャラリー整備の全体イメージ

①『鴨川文化回廊』との連携

鴨川沿いの歴史・文化スポットを結び、様々なテーマで散策や体験が楽しめる『鴨川文化回廊』との連携を図ることとし、コースを散策する観光客等に対して鴨川にまつわる歴史や文化を橋梁下を活用したギャラリーで紹介し、鴨川の魅力を発信する。

②整備箇所

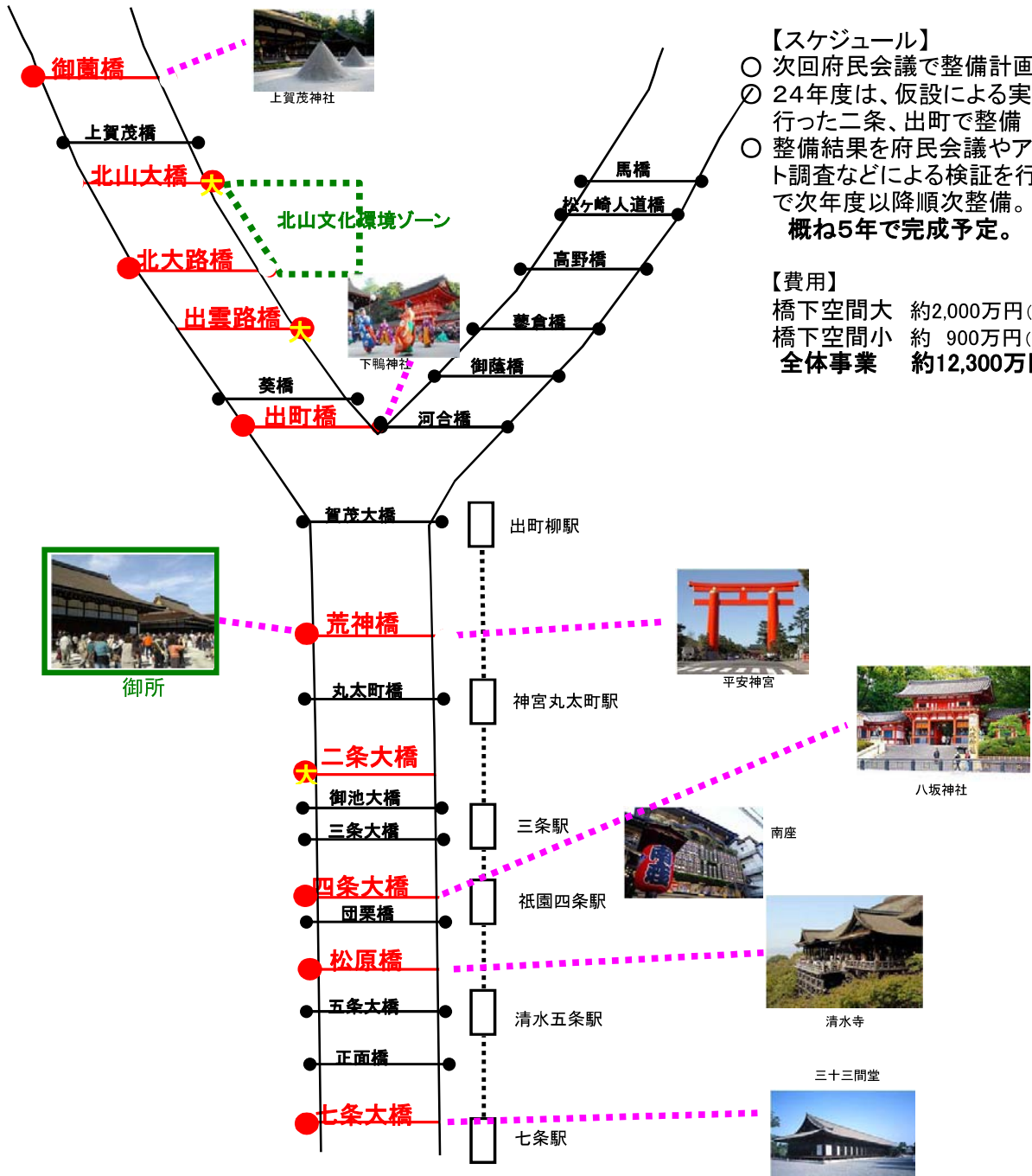
【範囲】 御蔭橋から七条大橋までの間

鴨川文化回廊コースとして鴨川の東山橋から御蔭橋までの範囲を検討されているが、七条大橋から下流は、現在河川整備中であるため、鴨川ギャラリー整備から除く。

【箇所選定】

概ね1kmの間隔にある下の図の10橋梁で整備を検討。

出町から下流は高水敷が広い右岸に整備し、出町から上流は高水敷が右・左岸同じであり交互に整備。



【スケジュール】

- 次回府民会議で整備計画を報告
- 24年度は、仮設による実験を行った二条、出町で整備
- 整備結果を府民会議やアンケート調査などによる検証を行った上で次年度以降順次整備。概ね5年で完成予定。

【費用】

橋下空間大	約2,000万円(3箇所)
橋下空間小	約 900万円(7箇所)
全体事業	約12,300万円